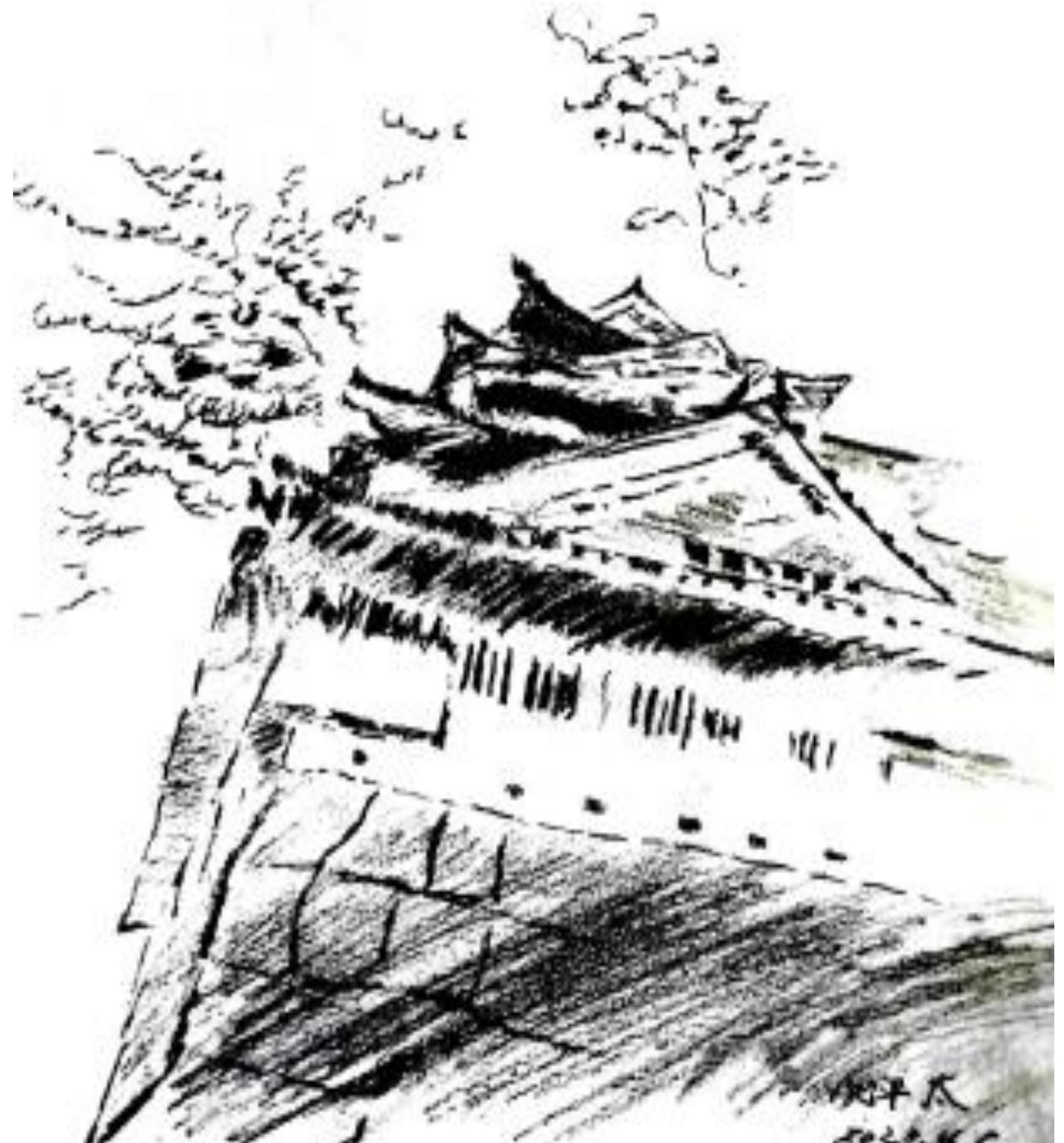


閣守天柳川

2024年6月号



第14回例会 2024年5月15日(水) 投句締切分

お題 「駅」

山野寿之 選

発車ベル過去のわたしは置いて行く

直子

花一輪ひからびてあり無人駅

加山勝久

駅伝のタスキをつなぐ子や孫へ

岡野とら丸

駅近に終の棲家の淡い夢

堀内きみ子

コンビニで駅弁買ってひとり旅

東尾由子

喫茶店駅舎を兼ねて切符売り

加山勝久

終電をホームで送る千鳥足

島根写太

駅弁を開いてまずは蓋の米

島根写太

見送られるのは苦手里のホーム

信子

高倉健の足跡残す無人駅

平川柳

省線と呼んでた頃の黒い駅

由夏

超多忙ところの駅を通過する

岡野とら丸

両親の見送りもらう駅景色

武智三成

旬野菜地産地消の道の駅

井澤壽峰

駅裏に昭和レトロの縄のれん

井澤壽峰

(五客)

佳5 たくさんのため息を聴く朝の駅

ルイ

佳4 故郷のストーブ温い狭い駅

青空

(三才)

佳3 愛されて運命線の駅になる

平川柳

佳2 3番線別れたあの日涙雨

久世高鷲

佳1 聴き惚れて時間を止める駅ピアノ

林ともこ

人 駄菓子屋前皆が下車する縄電車

松島きよみ

地 座布団が並ぶ故郷の無人駅

堀内きみ子

天 雑踏の駅にひしめくオノマトペ

秋田あかり

軸 出発は平和求める始発駅

山野寿之

(選評)

人の句

縄電車から五円や十円を握りしめた子どもが全員下車するのが駄菓子屋の前とは、幼い頃が目の当たりに浮かんできます。

地の句

乗り降りがほとんど無い無人駅に、手作りのほっこりする座布団がイスに敷いてあります。温かい人情を嬉しく感じます。

天の句

雑踏の駅は兎に角ザワザワ、ガヤガヤ、ドタドタなど、ひしめくオノマトペとはユニークな表現が面白いです。

お題 「介護」

ルイ 選

人と人介護される身有り難う

手を繋ぐ昔は恋に今介護

又来てね施設の窓に母の声

老いる夫介護は嫌や元気でね

子育てを終えたら待っている介護

一泊の介護体験知る世間

要介護五父観念の紙オムツ

娘よりヘルパー割り切って暮らす

柔らかな天使の羽根で抱きしめる

介護終えほつと一息支援受け

あれで良かったのかと振り返る介護

姉ちゃんたのむ突然来た介護

究極の恩愛母の下の世話

真夜中の介護答えを探してる

(五客)

佳5 笑顔の下に介護の苦労ひた隠す

佳4 お母さんあやとりの橋作ろうか

佳3 時と金ジリジリ迫る要介護

佳2 つい怒鳴り日日自己嫌悪母介護

佳1 老老介護湯船に浮かぶ愚痴ひとつ

東尾由子

岡野とら丸

堀内きみ子

青空

島根写太

武智三成

松島きよみ

下谷憲子

平川柳

美代

信子

秋田あかり

山野寿之

直子

久世高鷲

春田敏晴

久世高鷲

松島きよみ

林ともこ

(三才)

人 二度はない父との日々が愛おしい

真鍋心平太

地 爪切つて手を温めてする介護

山野寿之

天 朝餉匂う今朝は正気の母が居る

美代

軸 帰りには笑顔にさせるヘルパーさん

ルイ

(選評)

人の句

自分の時間や疲れを癒したいのも後回しになる事がある介護。

人は限りある命の時間の中に生きています。

お父さんとの会話や仕草や表情はその瞬間のもの。

親子の情のなんともいえない強さを感じます。

地の句

介護は人の身体に触れる行為です。最低限傷つけないように

注意が必要です。準備の段階から介護が始まっています。

自分の行為が相手にどう感じられるか、不快にさせないかと

いうことを考えてくれる人に温かい手で介護される人は幸せですね。

天の句

認知症になると日内変動があり、朝はしっかりされていても

夕方には不穏になったりします。家族はそのような変化で

一喜一憂したりします。

以前のように元気で表情のあるお母さんを見て安堵と喜びの

気持ちとご飯の香りが立ち昇っている様子が目に浮かびます。

お題 「雑詠」

真鍋心平太 選

- 青春の蹉跎が疼くなお疼く
路地裏のあの悪ガキが大スター
たんぼぼの綿毛になつて逢いにゆく
もみじトンボ風にまかせて新天地
子かはしやぎ笑顔が戻る老いた町
それでいいそこでいいよと月明かり
忘れると決めた途端に上がる雨
憲法は食べれないけど食べるため
雲行きを案ずるよりは今走る
とんがった石は多くを語らない
言い訳がひとつあります非常口
路地奥にチヨークで書いたイエス様
吊るされた奇妙な果実血の涙
未来地図無いまま向かう金婚譜
昨日とは違うハッハッ初夏の息
- 井澤壽峰
久世高鷲
平川柳
三枝なな
佐野正邦
秋田あかり
直子
岩原一角
岡野とら丸
船木しげ子
直子
春田敏晴
平川柳
島根写太
下谷憲子
- 佳5 冬パンツベルトの穴を2つ開け
堀内きみ子
佳4 ジエノサイドかつてはされて今はして
加山勝久

(五客)

(三才)

- 佳3 連休にサンドイッチを作ってる
ルイ
佳2 墮ちた鳥に野生生物の死想う
蔵内歳重
佳1 虐待の親に見せたい軒つばめ
松島きよみ
- 人 ポップスがハンバーガーのボタン押す
秋田あかり
地 ヒロシマに居続けているアブラゼミ
久世高鷲
天子の付けた足跡僕を見るようで
下谷憲子
軸 初夏いちめん山もよし湖もよし
真鍋心平太
- (選評)
- 人の句
仰るとおりポップスを聞くとハンバーガーを食べたくなる。
全く同感でこういう感覚の句も良いなと思った。
- 地の句
二つも原爆を落とされ、三つ目はそそのかされて作った
フクシマだった。
それでも原発を動かそうとしているのをアブラゼミに笑われ
ている。
- 天の句
我が子がすすくすと育ち自分と同じようにささやかな幸せを
掴んでくれれば嬉しい。
親である自分は先に旅立つが我が子も恙なく人生を全うする様
願うばかりである。

お題 「弁」

互選

1点

あざやかな弁舌に皆だまされる
逆流を止める小言に助けられ
京都弁英語交えてバスガイド
回らないお口で喋る三歳児
初夏を楽しむ駅弁などを買って
弁解が上手になって出世する
自治体でちがう弁付く水道管
弁の達友のメールは絵文字だけ
紅一点七福神の弁天さん

平川柳

佐野正邦

加山勝久

青空

信子

岡野とら丸

岩原一角

松島きよみ

平川柳

浜脇蓬生

井澤壽峰

下谷憲子

由夏

青空

浜脇蓬生

春田敏晴

武智三成

佐野正邦

由夏

直子

下谷憲子

美代

2点

駅弁が出張帰りお楽しみ
方言で意味取り違いややこしい
琵琶を持つ弁天様の艶姿
三ツ星越えた妻の弁当
訥々と復員兵の奇跡聞く
ドクドクと今日も働く凄けい奴
京都弁はんなり酒がすすむ夜
花の弁後悔はらり落ちてきた
電話では関西弁に早変わり
散々に持論を唱え知らんけど

7点

沈黙が雄弁になる酒二合

山野寿之

8点

弁解をせずに一言すみません
弁護士を連れて突然妻の乱

三枝なな
林ともこ

9点

好つきやねん大阪弁で咲くさくら
弁解はいいのこうして生きている

秋田あかり

10点

弁解の余地を残して諭す愛

秋田あかり

13点

優しさの弁にほろりと掛かる罨

堀内きみ子

13点

優しさの弁にほろりと掛かる罨

堀内きみ子

3点

嘘重ね詭弁重ねて二枚舌
弁慶もきつと適わぬうちの妻
入れすぎの空気を抜いた休み前
弁解の矛盾つかれて行き詰まる
弁解が上手になって枯れる花
弁解しないオッペンハイマー
弁明も出来ぬ現場を押さえられ
寡黙な父を熱弁にさせ爛2合
入社の弁三月も過ぎりや忘れ去り
爺唾然キャラ弁置かれ迷い箸
弁の立つ議員失言して自滅
人間になつたら使う弁証法
弁解を皇月の空に負けておく
のり弁にされて出てくる公文書
雄弁に語つた後の無責任

山野寿之

島根写太

ルイ

久世高鷲

直子

真鍋心平太

久世高鷲

波部珀兔

加山勝久

美代

井澤壽峰

春田敏晴

武智三成

船木しげ子

真鍋心平太

岡野とら丸

山野寿之

三枝なな

林ともこ

秋田あかり

秋田あかり

堀内きみ子

堀内きみ子

得点があるものをすべて点数順に掲載しています。
得点が空白のものは前行の可と可得点です。

お題 「嬉しい」短句

武智三成 選

1点

嬉しいふりして笑顔でお礼
風邪をもらって休み嬉しい
嬉しい悲鳴株の高騰

じゃが芋の花咲いた便りが
夕焼け空に千羽鶴翔ぶ

孫が来る日は上等の肉
あかん臈月にピンク一輪

明日退院禁酒解禁
孫達が来て嬉しい嵐

貴重体験日本にオーロラ
インバウンドが笑う円安

もらい風呂した近所付き合
焼き鯖寿司半額になる五時スーパ

口が迎えるなみなみの酒
好みの品が届く母の日

カーネーションに笑みがこぼれる
プロポーズして報われた恋

分教場三年ぶりの一年生
身体ひとつで良いと言われる

黄色重なる推し活の声
嬉しい涙の傘寿の祝

一喜一憂阪神ファン
嬉しい言葉探す毎日

嬉しさを待つ呱呱の瞬間
娘の靴で踏まれています

孫を迎える駅の改札

浜脇蓬生

船木しげ子

林ともこ

信子

平川柳

青空

武智三成

由夏

堀内きみ子

波部珀兎

春田敏晴

蔵内歳重

加山勝久

山野寿之

松島きよみ

平川柳

井澤壽峰

加山勝久

春田敏晴

ルイ

東尾由子

由夏

直子

久世高鷲

真鍋心平太
岡野とら丸

4点

生きとし生ける嬉しい蕾
ランドセルから笑い声する
嬉しくて泣き悲しくて笑む

5点

三島由紀夫もフォト川柳に
妻が鼻歌今こそチャンス
生還の鐘高らかに今

6点

退院の日は若葉鮮やか
小走りになりやうて来る愛
緑の風がわたしを誘う

8点

里が近づく特急の窓
来るのよ彼がステッキついて
弾ける笑顔合格通知

9点

誤診だと知り笑い止まらず

12点

今月の投句者(29名 敬称略)

井澤壽峰

山野寿之

武智三成

真鍋心平太

浜脇蓬生

堀内きみ子

加山勝久

岩原一角

平川柳

青空

直子

下谷憲子

久世高鷲

信子

ルイ

林とも子

由夏

佐野正邦

東尾由子

春田敏晴

波部珀兎

秋田あかり

岡野とら丸

美代

島根写太

松島きよみ

三枝なな

船木しげ子

蔵内俊重

三枝なな

船木しげ子

林ともこ

武智三成

岡野とら丸

秋田あかり

下谷憲子

山野寿之

秋田あかり

真鍋心平太

美代

久世高鷲

下谷憲子

今月投句者は29名でした。
皆様ご参加、ご協力ありがとうございました。

「明日」

真鍋心平太

パイの大きさが限られているとき一人が多く取ると他の人の取り分は少なくなる。多くの文化で大金を稼ぐことは罪悪だとみなされたのはこのためである。今日よりも明日の**パイが大きくなると「信用」**することが出来れば、ひとつこれに投資してみようという人が現れる。これが資本主義の本質である。「より良い明日を手に入れよう」とする個人の欲望が新しい投資と雇用を生み全員を幸せにするというのだ。

アダムスミスは「国富論」の中で個人起業家の欲が全体の富と繁栄の基本であると唱えた。自分の利益を増やしたいという人間の利己的な衝動が全体の豊かさの基本になるといふこの主張は人類史上屈指の画期的な思想となった。スミスは富と道徳は矛盾するという従来の考えを覆し、金持ちに対して天国への門を開いたのである。

さて先日、突然「消滅都市」という言葉をテレビで聞いた。2040年に向けて20-39歳の女性の数が半分以上減少し、消滅するかも知れない都市を消滅都市といい全国に900もあるそうだ。

つまり消滅都市には「明日はない」ということである。私は来年喜寿になるのだが、振り返ってみるとオリンピックあり、万博があり、石油ショックがあり、バブルがあり、ひところはジャパンアズナンバー1と言われたこともあり、将来を夢見て駆け抜けて来たのだが、何時のまにこんなことになっていたのだろうか。何だか騙されたような気分である。

ここで思い出されるのはアメリカにもベトナム戦争の処理に失敗したあと、将来に夢を持てなくなった時代があったことである。この頃に登場したハッピーエンドのないアメリカンニューシネマ「俺たちに明日はない」「明日に向かって撃て」などを覚えていらっしゃる方も多いだろう。「明日に向かって撃て」のラストで行き場のなくなった主人公二人はそれでもまだメキシコがあると言ふ。夢が無くなりかけてもまだ「明日がある」と信じて飛び出していく二人の姿に胸をうたれた。

その後アメリカは金融とコで立ち直ったが、わが国が再びジャパンアズナンバー1と言われる日は来るのだろうか。

ということで巻末の絵は鉛筆画を描き始めた頃に描いた映画「明日に向かって撃て」のラストシーンである。

川柳天守閣 連載 評論 「現代川柳の詩学」を考える ⑤

「俳諧」の「発句」と「雑俳」の「前句附」の「川柳」―

『誹風 柳多留』(四篇)の「内在律」の会話体―

十八世川柳宗家 閑成庵川柳 平 川柳 (東京川柳会主宰)

京都大学の穎原退蔵 (一八九四・一九四八) 博士の

『俳諧史の研究』では松尾芭蕉 (一六四四・一六九四) まで

の「俳諧史」について詳細に論考されていますが、そこには

「川柳文芸」のルーツである「雑俳」^{ざっぱい}の「前史」も記されて

います。

「雑俳」とは本格的な「俳諧」に対して「前句附」^{まえくづけ}に代表

される雑多な形式と内容をもつ「諸種の小詩形」を「総称」

するものです。「雑俳」の「前句附」は「初心者のための俳

諧入門」ともいえるもので「一般に附合修行」^{つけあひ}の一方方法でし

た。特に「二句」だけの「附合」文芸である「前句附」は「短

句」(七七)を「前句」とし、それに「長句」(五七五)を

つけるものと「長句」(五七五)を

「前句」とし、「短句」(七七)をつけるものがありました。

「前句附」の点者であった柄井川柳は独自の選句方法によって「前句」を省いても「一句にて」句意の分かり易いものを選句し、柄井川柳選句集『誹風 柳多留』を呉陵軒可有編によって一七六五(明和二)年に刊行しました。

穎原退蔵博士はこの「雑俳」の「前句附」から柄井川柳が「川柳」と称する一種の「文学」を生んだと指摘しています。そして今日、「川柳」は「江戸文学」の代表的な「附合」の「短詩」文芸として、いろいろな方面から考察されています。

こうして「七七」の「前句」を省いた「五七五」の「長句」が「十七音」の「川柳」文芸となり、「五七五」の「長句」の「前句」を省いた「短句」(七七)が「十四音」の「短句」となります。

「前句附」には、このように「十七音」の「長句」と「十四音」の「短句」の二種類がありました。

江戸座の「誹諧」の宗匠であった慶紀逸(けい・きい

つ)の『誹諧 武玉川』には「長句」の「十七音」の「短詩」と「短句」の「十四音」の「短詩」が収録されていますが、特に「短句」には「川柳」のように「情」を詠んだものや奇抜な比喻表現を用いた次のような詩情あふれる「短句」が収録されています。

恋しい時は猫を抱上げたき

石の地蔵の清い唇

白い所は葱ねぎのふと股もも

こうした「短句」を収録した『誹諧 武玉川』は「短句」の「バイブル」的存在とも呼ばれています。

一方、『誹風 柳多留』には四篇以降から次第に「附合」文芸の一方法であった「前句附」の「五七五」から次のような江戸時代の日常風景を「会話体」の口語を用いた「内在律」の「長句」が多く収録されるようになります。

おとなしく寝やとみそ漬一つやり

町へ行きたいとやり手に実をいひ

犬がほへますと産婦におこされる

「おとなしく寝やと」の句は「おとなしく寝やと」という会話体を用いたため「八四五」の「内在律」になっています。「内在律」の句は意味の切れ目で読みます。

この「川柳」は産婦が上の子に「はやく寝なさい」とお菓子代わりに「みそ漬」を「一つ」与えている場面が目に浮かびます。

「町へ行きたいと」の句も「町へ行きたいと」という会話体を用いたため「八四五」の「内在律」になっています。

この「川柳」は吉原の女郎が遊女などを取り仕切る遣り手の女に「町へ行きたいと」と「本音」(実)をいった姿が描かれています。「町へ行きたいと」は「はやく吉原を出たい」という意味です。「町」は「廓(くるわ)」に對して一般社会をさします。

「犬がほえますと」の句も「犬がほえますと」と会話体を用いて「八四五」の「内在律」になっています。

この「川柳」は神経のたかぶっている「産婦」が「犬がほえますと」気にかかり、何かあったのではないかと、家人を起こす場面が描かれています。

(続く)

第15回 ウェブ川柳天守閣 ご案内

5月よりサイトのURLがかわっていますのでご注意ください！

お題 「ポケット」 井澤 壽峰 選
「緑」 直子 選
「苦手」 互選
「雑詠」 真鍋心平太 選
「夢」(短句) 互選
(投句 各2句)

左記の投句、互選投票、結果発表の閲覧は
下記URLから可能です。**変更になりました。**
<https://tensyukaku.com/>

投句、互選投票は会員登録が必要です。
会員登録は下記URLより **こちらに変更になりました。**
https://tensyukaku.com/id_make.php

投句開始 2024年6月9日(日)から
投句締切 2024年6月15日(土)まで
互選投票 投句締切後下記の期間内に投票して下さい。
6月16日(日)～6月19日(水)
披講発表 6月20日(木)から随時閲覧可能になります。

スマホは下記 QR コードから



投句・閲覧



会員登録



鉛筆画

「明日に向かって撃て」のラスト
(クリックすると大きくなります。)

二〇二四年五月二十五日発行
ウェブ川柳天守閣会報

(発行責任者 真鍋心平太)
(編集人 真鍋心平太)

(事務所)

〒 520-0054

滋賀県大津市逢坂一丁目8-1

サンルシエル大津607号室

川柳天守閣

TEL・fax 077(532)4211

携帯 080(2672)4446